

(中1) 英語 認定テスト課題解説

河合塾中学グリーンコース

1月～4月までの【A】～【E】エンリッチ英語専用問題を受験される方は、この課題解説プリントで受験準備をして認定テストに臨んでください。

単語リストにある英単語を確実に覚えて、英文を書けるようにしておきましょう。

(発音記号を覚える必要はありません)

【名詞】

〔解説〕

1. 名詞

ものや人の名を表す語を名詞といいます。英語では、名詞を、数えられる名詞と数えられない名詞にわけます。

(1) 数えられる名詞（可算名詞）

個数で数えることができる名詞を、可算名詞といいます。可算名詞で表すものがひとつの場合を単数といいます。

〔单数〕 可算名詞で表すものがひとつの場合、その名詞の前に、「ひとつの」という意味の a, もしくは an という冠詞をつけます。

- ・子音から始まる名詞の場合 → a をつける (例) a pen
- ・母音から始まる名詞の場合 → an をつける (例) an egg

(2) 数えられない名詞（不可算名詞）

個数で数えることができない名詞を不可算名詞といいます。不可算名詞には、 a や an をつけることができません。

(例) water (水) math (数学)



単語リスト

不可算名詞

<固有名詞>

America	[əmérɪkə アメリカ]	アメリカ
China	[tʃaɪnə チャイナ]	中国
Japan	[dʒəpān ドヤパン]	日本
Emily	[émeli エミリー]	エミリー(女性の名)
Mike	[maík マイク]	マイク(男性の名)
Tom	[tám トム]	トム(男性の名)

<運動・物質・学問に関する名詞>

baseball	[béisbò:l ベイスボール]	野球
soccer	[sákər サッカ]	サッカー
tennis	[ténis テニス]	テニス
coffee	[kó:(:)fi コ(-)ワイ]	コーヒー
tea	[tí: ティー]	お茶
water	[wó:tər ウォータ]	水
English	[íŋglis イングリッシュ]	英語
math	[mæθ マス]	数学
music	[mjú:zik ミュージック]	音楽

可算名詞

<人を表す名詞>

boy	[bóy ボイ]	少年
doctor	[dáktər ダクター]	医師
girl	[gé:rl ガール]	少女
nurse	[nér:s ナース]	看護師
student	[stjú:dənt スチューデント]	学生
teacher	[tí:tʃər ティーチャ]	教師

<ものを表す名詞>

apple	[æpl アブル]	リンゴ
bag	[bæg バッグ]	かばん
book	[búk ブック]	本
box	[báks バックス]	箱
car	[ká:r カー]	車
cat	[ká:t キャット]	ネコ
chair	[tʃé:r チア]	いす
cup	[káp カップ]	カップ
dog	[dó(:)g ド(-)ッグ]	犬
egg	[ég エッグ]	卵
glass	[glá:s グラス]	グラス
guitar	[gitá:r ギター]	ギター
notebook	[nóutbúk ノウトブック]	ノート
orange	[ó(:)rindʒ オ(-)レンジ]	オレンジ
pen	[pén ペン]	ペン
pencil	[pénsl ペンスル]	えんぴつ
piano	[piéñou ピアノ]	ピアノ
table	[téibl テーブル]	テーブル

【be 動詞の文】

[解説]

1. 英文の成り立ち

一般的に、「～は、～が」という主題になる部分と、「～である、～する」という主題について述べる部分で、文ができます。英語では、主題になる部分を「主語」、主題について述べる部分を「動詞」といいます。英語では、主語のあとに動詞を置きます。

I am a student. (私は学生です)

主語 動詞



I have a book. (私は本を持っています)

主語 動詞

(1) 主語 主語になる品詞は、名詞と代名詞です。

(2) 動詞 動詞になる品詞は、動詞です。動詞にはいろいろな分類の仕方がありますが、まず、be 動詞と一般動詞にわけて考えてみましょう。

*品詞とは、単語を語形や働き、意味などによって分類したものです。

2. be 動詞の文

・be 動詞を用いた文は、<主語 + be 動詞>のあとに「補語」を置きます。補語は、主語を説明する部分です。be 動詞は、主語と補語をイコールの関係で結ぶ働きをし、「～は…である」という文を作ります。

I am a student. (私は学生です)

主語 動詞 補語

・be 動詞の現在形は3種類あり、主語の人称によって使いけます。

主語が一人称単数 (I) のときは am を用います。

主語が二人称単数 (you) のときは are を用います。

主語が三人称単数 (Tom など) のときは is を用います。

*一人称は自分、二人称は相手、三人称はそれ以外の人やものです。

I am a student. (私は学生です)

You are a teacher. (あなたは教師です)

Tom is a student. (トムは学生です)



* 英文の書き方

You are a student.

①

②

②

②

③

- ① 文の最初の文字は、大文字で書く。
- ② 単語と単語の間は少しあける。
- ③ 文の終わりには、ピリオド（.）をつける。
- ④ 固有名詞は、文の途中であっても大文字で書き始める。

【一般動詞の文】

[解説]

1. 一般動詞の文

- ・ be 動詞以外の動詞を一般動詞といい、多くの場合「～は…する」という文を作ります。
- ・ 一般動詞には、<主語+動詞>のあとに「目的語」を置くものがあります。目的語は「～を」と動作の対象になる部分です。

I have a book. (私は本を持っています)

主語 動詞 目的語

単語リスト

<一般動詞>

eat	[i:t イト]	～を食べる
have	[hæv ハヴ]	～を持っている
know	[nóu ノウ]	～を知っている
like	[láik ライク]	～が好きだ
play	[pléi プレイ]	[スポーツ]をする
speak	[spí:k スピーケ]	～を話す
study	[stʌdi スタディ]	～を勉強する
teach	[tí:tʃ ティーチ]	～を教える
use	[jú:z ユーズ]	～を使う